

第49回全日本川柳2026年 岡山大会

題 （令和8年4月15日（水） 当日消印有効）

「ガラス」弘兼秀子選（広島）
「晴れ」佐道正選（東京）
「自由吟」濱山哲也選（青森）

日時 令和8年6月21日（日）

午前9時開場

会場 笠岡市民会館 大ホール

〒714-0087

岡山県笠岡市六番町1-10

☎0865（63）5511

第二次選者

江畑 哲男（千葉） 赤池 加久（石川）
高橋みつちよ（北海道） 高鶴 礼子（埼玉）
片岡 加代（大阪）

表彰 岡山県知事賞 他

★入賞者には賞状とメダルを予定しています。

応募方法 参加用紙に住所・氏名・電話番号・学校

を記入の上、句箋用紙（各題二句・無記名）
とともに郵送してください。

参加料は無料です。

投句先 〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1の11

ステップイン南森町905

一般社団法人 全日本川柳協会 宛

☎06（6352）2210

FAX 06（6352）2433

★後日、入選者には作品集を無料にて配布します。

川柳の書き方・川柳の作り方

川柳は五・七・五のリズムで人間をうたう詩です。
ふだん私たちがしゃべったり書いたりしている言葉
で、思ったこと、感じたことを自由に表現する詩で
す。川柳では、ひとりひとりの暮らしやいのちの喜
び、楽しみ、悲しみ、怒りを詠（よ）むことができます。
五・七・五のリズムを基本として、自由に詠
んで下さい。俳句のように「切れ字」（何何や、何
何かな）、「季語」（季節の言葉。月は秋を指す）、「文
語表現（旧かな遣いなど）」にとらわれることもあ
りません。面白いたとえを用いたり、表面的なこと
を言いあらわすだけでなく、その奥にあるもの（真
実）を表現することにより、読む人にユーモアや風
刺を感じさせます。川柳は、弱者（じやくしや）の
弱みをからかったり、言葉の表面だけの語呂（ごろ）
合わせや駄洒落（だじゃれ）で人を笑わせるものでは
ありません。ユーモアは、川柳の特徴の一つです
が、それは上品なおかしみや温かみの感じられると
ころに本当の値打ちがあります。



題[自由吟] (自由に作る) 濱山哲也選			題[晴れ] 佐道正選			題[ガラス] 弘兼秀子選			No.			
									氏名		住所	
										ふりがな	〒	
											府県 都道	
男・女		立	TEL									
(学年 年)				学校名	学校							
No.			No.			No.			第49回全日本川柳2026年岡山大会		ジュニア部門(小・中学生)	